

市長・市議会議長から新年のごあいさつ



竹原市長
今 榮 敏 彦

明けましておめでとうございます。市民の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、令和5年は市制施行から65周年を迎え、11月に記念式典を開催し、これまで市政の発展に寄与された方々を顕彰する中で、改めて先人への感謝とまちづくりへの決意を新たにしたところです。

こうした中、世界情勢は混沌とし、燃料価格の高騰による物流コストや原材料価格の上昇は市内経済にも大きな影響をもたらしていることから、市民や事業者の皆様に対して数次にわたる支援を講じて影響の緩

和に取り組んでまいりました。

さらに、現市庁舎の移転については、災害対策拠点としての機能強化や市民の交流スペースを備えた新たな庁舎を整備しているところでもあります。今後におきましても、老朽化した公共施設及びその周辺環境の再整備への取組を推進してまいります。

さて、本年は、第6次総合計画の後期基本計画がスタートします。後期基本計画と一体に取り組む「竹原市デジタル田園都市国家構想総合戦略」の考え方も踏まえ、本市の魅力を活かした賑わいの創出によって目指す将来都市像である「元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」の実現に向け、引き続き尽力してまいりますので、本年もより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、令和6年が皆様にとりまして輝かしい年となることを祈念申し上げます。



竹原市議会議長
大 川 弘 雄

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに令和6年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、皆様の御支援と御協力により、議会運営に精進することができましたことを心からお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類されたことから、近年中止しておりました様々なイベントや行事が再開されました。竹原市においては市制65周年を迎え、記念行事

を開催し、市議会では、市内の中学生を招いて意見交換会を行うことができました。

このように、コロナ禍前の日常に戻りつつありますが、一方でエネルギー価格の高騰やあらゆる物価の上昇が市民生活を直撃しており、その対応が大きな課題となっております。

市議会におきましても、市に対して積極的に働きかけ、意見を出し合い、市民の皆様様の平穏な生活を少しでも早く取り戻せるよう努力してまいります。

どうか、本年も市議会に対し、さらなる御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が市民の皆様にとりまして御健勝で実りの多い一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。